



別子小・中学校だより

令和5年12月25日
新居浜市立別子小・中学校
発行責任者 高須賀 美雪
☎ 64-2115

少しずつ冬の訪れを感じるようになりました。気象庁の長期予報によると、今年は暖冬傾向にあるそうですが、別子の冬はどのようなのでしょうか。初めて別子で冬を迎える中学一年の寮生は、雪合戦をしたりかまくらを作ったりするのを今から楽しみにしているようです。

19日の対話交流会「おしゃべっし」、22日の「しし鍋」大変お世話になりました。地域のみなさまの温かさ、優しさを肌で感じ、子どもたちは、本当に嬉しそうでした。コロナ禍で途絶えてしまっていた地域のみなさまとのつながりを、また、新しく紡いでいけたらと思っております。学校運営協議会のみなさまをはじめとする、地域のみなさま、そして保護者のみなさまとともに、未来を担う子どもたちの成長、学びを支えていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。楽しい冬休み&年末年始になりますように。令和6年も、どうぞよろしく願いいたします。よいお年を(^_^)

オープンスクール (11月26日)

新居浜市内で別子中学校進学を考えている小学6年生及びその保護者57名対象に、日曜日の午後に、オープンスクールを開催しました。教科の授業だけでなく、立志寮、そして別子ファームも見学していただきました。参加した小学生は、やや緊張した面持ちでしたが、大変熱心に授業や説明を見たり、聞いたりして、別子中学校進学への思いを高めている様子でした。



教育長講座 (11月27日)

市教育委員会の高橋良光教育長が来校し、講演を行いました。ご自身の生き立ちから始まり、今日に至るまでの様々な経験をふまえて、別子の子どもたちにぜひ伝えたいという思いや願いをユーモアや歌を交え、笑顔で語っていただきました。

「人生の主人公は自分」「課題より生きがい発見」「人生の相対性理論では、もうダメだはない」など、子どもたちの未来に向けて、明るく、温かい希望の光を与えていただきました。



シェイクアウトえひめ（18日）

「シェイクアウトえひめ」に参加しました。今回も、小・中共に素早く低い姿勢をとることができました。訓練後体育館の倉庫の水や米等の備蓄物資の確認（右下の写真）も行いました。備蓄物資の置き場や体育館での避難の仕方について、何が最適解なのか考えることができました。



対話交流会「おしゃべっし」（19日）

地域の大人の方17名に学校に来ていただき、対話交流会「おしゃべっし」を行いました。大人と子どもで4～5人グループになり、アイスブレイクとしてペーパータワーを作った後は、一人一人が自分の人生の変化やターニングポイント、大切にしている価値観、頑張っていることをお互いの「人生グラフ」として紹介し合いました。最後は1対1での対話、そして、笑顔で再会時の「2人の約束」して、交流を締めくりました。



言葉のシャワー（毎日）

言葉には素晴らしい力があります。授業中や休み時間に話す言葉だけでなく、学校には、あらゆるところに先生から児童・生徒へ、また、児童・生徒同士の間で書かれた言葉が飾られたり、そっと置かれたりしています。



その言葉を、立ち止まって眺め、または、じっくりと読み、何かを決意したような表情を見せる子どももいます。今だけでなく、将来悩んだり、困ったりしたときも思い出して、乗り越える力に変えて欲しいです！保護者のみなさまや地域のみなさまからの言葉のシャワーは、子どもたちにとって大きな励みになっています。



「あなたに贈る言葉のプレゼント」のコーナー

一人一人の子どもへのメッセージカード